

「在宅医療」を支援します

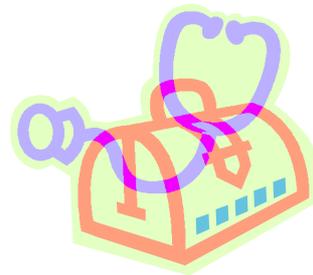
本気で在宅医療に取り組みませんか - 高齢社会でのクリニック生き残りのために在宅療養支援診療所が制度化されて、「在宅」が注目されています。「取り敢えず届けておかなければ」と看板を揚げた開業医の先生も多いようです。確かに「在宅」に報酬は手厚くなりました。次回報酬改定で外来報酬の下げが噂されている状況にあって、また開業が相次ぎ競合が激化する中で、「在宅」に取り組むことが重要な課題となっています。しかし「在宅」を始めることは簡単なことではありません。下記のようなハードルがあるからです。

在宅療養診療所、在療診は24時間対応が基本原則です。この壁をクリアして、初めて「在宅」の体制が整います。

「在宅医療いたします」と院内外に告示してみたものの依頼はさっぱりという例も多く、どうやって患者様を獲得するか、が大きな問題です。

「在宅」をやっていく上での問題・課題は24時間対応だけではありません。歯科など他の診療科との連携、緊急対応のための受入れ先病院確保、ケアマネージャなど介護関係者との協力体制などが必要です。

患者様確保から連携・協力体制の構築、患者様に安心していただくために、また「在宅」に取り組む苦勞に対してキチンと収益を確保していくために何をすべきか、していくべきか、を考えてください。私たちは先生方をサポートいたします。



「在宅」のメリット

高齢者人口が急速に増えています。国は「在宅」への移行を協力を推進しており、診療報酬上の手当でも厚くしていっています。ある試算では時間当たりで外来診療の30%増しの収入となります。

在院日数短縮などで「在宅」需要は増えていますが、本格的に取り組むクリニックがまだまだ少ないのが実情です。即ち、今、本格的に参入すれば先行者利益が得られます。

「在宅」参入に追加投資はほとんどありません。ローコストが「在宅」の魅力です。

もっと大切なことがあります。

外来で診てきた患者様が「在宅」に移っても引き続き診ることが出来ます。

その患者様の健康生活を、生涯に亘る主治医として守ることが出来ます。

家で療養したい、病院で暮らしたくない、という高齢者の方々のニーズに応えて、自分らしく療養生活を送っていただくお手伝いが出来ます。

私たちのサポート内容

私たちは、先生方に医療者としての喜びと増患・収益向上の実現のために「在宅」展開をサポートいたします。日々の診療でお忙しい先生の分身役を務めます。

24時間対応など「在宅」実践のための体制整備サポート

「在宅」に取り組んでいく上で必要なのはパートナーの確保です。私たちは院内看護師の動機付け、訪問看護ステーションの選定・訪問・連携構築を行ないます。

「在宅」患者様確保のための「営業」活動

待ちの姿勢では数名の患者様が限界です。私たちは、病院、ケアマネージャから民生委員、他の開業医の先生のところまで、先生に代わって「営業」いたします。

広報サポート

「営業」を側面から支えるのが広報活動です。例えば、「在宅」依頼はホームページを見て、ということが結構、あります。東京にいる息子さんが大阪の親を心配してネットで探して依頼する、というのはごく一般的なことです。検索ページで上位に来る、また「こんな先生に依頼したい」と思わせるHP作成のほか、「在宅」への取組みを情報発信するクリニック通信の発行なども請け負います。

診療サポート

電子カルテなどシステムをどうしようか？ 「在宅」はチーム医療です。したがって情報共有が課題。私たちはシステム構築を先生と一緒に考えて、サポートします。ターミナルケアはどうなるの？ 私たちは多くの「在宅」実践の先生方、看護師とネットワークを組んでいます。分からないことがあっても大丈夫。ネットワークで解決します。その他、家族ケア・サポートなど

宗教者などとも交流があります。精神的なケアが必要となれば、ご相談ください
普通のコンサルタントには真似の出来ない徹底したサポートをいたします。

高齢者住宅についてのご相談にも応じます

医療・介護の取組みの一環として、高齢者住宅の経営をお考えの先生もいらっしゃいます。私たちは医療・介護・生活一体型の高齢者住宅プロジェクトの実績もあります。ご遠慮なく、ご相談ください。

